

平成 23 年 10 月 6 日

5 年生保護者の皆様

広島市立白島小学校

校長 松崎 良孝

平成 23 年度「基礎・基本」定着状況調査結果について

平成 23 年 6 月 14 日（火）、広島県内の小学校 5 年生全員を対象に、国語・算数における前学年までの学習内容の定着状況調査と、生活と学習に関する意識・実態についての質問調査を行いました。県・市・本校の通過率（％）は次表の通りです。

	広島県	広島市	白島小
国語	78.5	77.3	78.1
算数	77.8	76.2	79.0

本校では、次のように分析し、今後の指導に役立てたいと思っております。

国語 聞くこと・書くこと・読むこと・言語事項のすべての領域に関して基礎的、基本的な力についてはついていきます。今後は、(1)文の構成について、主語・述語の関係をしっかり捉えること、(2)物語において、場面の移り変わりや情景を想像して読み取ること、(3)長文について、段落相互の関係を考えながら文章全体の構成をしっかりとつかむこと、が大切であると考えています。

そこで、主語と述語の関係をしっかり捉えるために、読んだり書いたり際に、繰り返し取り上げて考えさせていきます。物語の情景や気持ちを想像して読み取らせるためには、読書活動を充実させます。また、物語の学習においては、自分が感じたことや想像したことを交流し合う場面を多く持ち、様々な角度での感じ方や考え方を知ることができるよう指導していきます。また、長文における段落相互の関係を把握するために、接続詞に注目して読んでいくようにさせます。段落の要約などの活動を充実させ、文章の全体像をつかめるように指導します。

漢字の読み書きについては、「帯タイム」や授業の中で繰り返し漢字や語句の練習をさせていきます。読書・意味調べなどを通して、語彙を増やしていくようにしていきます。また、言語能力を伸ばすために、国語辞典がいつでも引ける学習環境を整えます。新出漢字の学習では、熟語や短文で漢字を使うようにさせます。また、作文や日記を書く際にも、文章の中に習った漢字を使うように継続した指導を行います。

算数 数と計算・量と測定・図形・数量関係のすべての領域に関して基礎的、基本的な力についてはついていきます。今後は、(1)分数の概念をしっかりと定着させること、(2)算数的活動を授業や日常生活の中で取り入れて量感を養うこと、(3)分度器などの用具をきちんと活用できるよう定着させること、が大切であると考えています。

そこで、小数や分数を、具体物を操作したり線分図に表したりして考えていかせ、数の大小のイメージをつかませていきます。また、量感を養うために、時刻・時間・長さ・面積などの量感を授業中で身につけさせるとともに、日常生活の中でも意識的に使わせるようにしていきます。クイズ形式で話し合って意識的に使わせる

などの工夫した指導も展開していきたいと考えています。さらに器具を使う際には、答えを出す前にだいたいの見当をつけて問題に取りかかるよう指導します。

また、自分の考えを発表したり理由をあげて説明したりする力を養うために、学習課題を明確に意識させ、既習事項を基に自力で解決できるように考える時間を保障します。さらに、図や文章でまとめさせ、一人一人の考えを発表させる中で、合理的な解決方法に気づかせていくようにしていきます。また、発表する際必要な場合はICT機器を活用していきます。

このような学習過程を繰り返すことで、児童の自信や思考力・表現力を育てていきたいと思っています。

生活と学習に関する意識・実態調査

全体的には基本的な生活習慣はほぼ確立されていると思います。しかし、早寝・早起き、学習習慣については、できている児童とそうでない児童との個人差があります。また、自分の気持ちを言葉で表現する力が弱い、という傾向があります。特に、気持ちを言葉で伝えようとしている、順序や理由付けに気をつけて表現しようとしている児童が6、7割程度という結果が出ています。ペア学習、グループ学習などで自分の考えを進んで表現できる場を多く設けていきます。また、授業中や帯時間を活用し、語彙を増やしたり、順序や理由を意識して表現したりする方法を指導していきます。

また、学習意欲は全般的に高いのですが、「主語に気をつけて書いたり話したりしている」の項目が低く、主語をはっきりさせるよう、意識づける必要があると考えられます。そのために、主語をはっきりさせ、聞き手や読み手を意識して、わかりやすく話したり書いたりできるように指導していきます。

さらに児童の生活習慣をよりよいものにしていくためには、学校と家庭が互いに協力することも大切です。基本的な生活習慣の確立を図るため、「生活・学習リズムカレンダー」を効果的に活用して、児童に返していく必要があります。また、児童が自分の力で考え、自分の考えを相手に伝えていく気持ちや、ねばり強く話し合っ物事を解決していこうとする態度を育てること、自分のよさが発揮され、認められる場を多く持ち成長が自覚できるようにしていきます。

以上の点をふまえ、今後学校では、より一層の基礎・基本の定着を図るため、朝の読書・帯タイムを継続しつつ、一人一人をしっかり受けとめ、個に応じた指導を工夫しながら授業の充実を図りたいと考えています。

子どもたちに確実な力をつけるため、ご家庭でも機を逃さず、肯定的な声かけなどのはげましで、やる気を引き出し、自信をもって学習に取り組めるようご協力をお願いいたします。

なお、お尋ねになりたい点がございましたら、お気軽に学校へお問い合わせください。

(221-3012 教頭 正岡)

また「ホットライン教育ひろしま」(<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/syoutyu.htm>)にて、広島県全体の結果速報等をお知らせしておりますのでご覧ください。

(参考...過去4年間の通過率(％))

	平成 19 年度			平成 20 年度			平成 21 年度			平成 22 年度		
	広島県	広島市	白島小	広島県	広島市	白島小	広島県	広島市	白島小	広島県	広島市	白島小
国語	64.2	63.7	63.4	67.4	66.4	65.6	75.0	74.0	68.1	82.3	81.0	85.1
算数	75.6	75.8	72.9	76.1	75.8	74.5	79.8	78.4	75.6	79.0	77.6	77.7